

## 委員会等の会議録

1 会議名	第4回 愛南柑橘営農環境改革推進協議会	
2 議題	(1) 改革プランについて (2) 実践に向けた取組について	
3 開催日時	平成29年3月3日(金) 14時00分から16時00分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁 2階 第1会議室	
5 傍聴者数	1人	
出席者		
6 委員氏名	吉村 克己(農林課長)、原田 達也、河野 仁、吉田 浩、小野山 純平、孝野 覚也、酒井 眞理子、塚岡啓三、山田 聡、松田 昌治、西崎 梅一、木村 勝彦、藤田 重徳	
7 担当所属	所属名	農林課
	担当職員 (職・氏名)	課長補佐 小野山 武士 係長 近平 高宜
	所属名	農業支援センター
	担当職員 (職・氏名)	課長補佐 尾崎 弘典 JA えひめ南 南宇和支所 源 良行
8 その他の 出席職員	所属名	いよぎん地域経済研究センター(IRC) ※本事業の委託者
	出席職員 (職・氏名)	主席研究員 友近 主任研究員 灘野
	所属名	株NTT 西日本 ビジネス営業部
	出席職員 (職・氏名)	大野 勝久 岡村 大
	所属名	愛媛県南予地方局
	出席職員 (職・氏名)	技師 矢野 貴大
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
吉村課長	(あいさつ)
(IRC) 友近氏	(資料により「将来を見据えためざすべき姿(将来像)と取組施策」について説明)
(IRC) 灘野氏	(資料により、改革プラン実行のための施策及び重点プロジェクト7項目について説明)
吉村課長	<p>本協議会は来年度以降も継続して運営したいと考えています。また、七つの重点プロジェクトについては、平成29年度からの事業として、4月、5月から実施に向けた取組を検討したいと考えています。本プランはあくまで基本的な構想であり、時代の流れや進捗状況に応じて内容を見直す可能性はあります。まずは七つの重点プロジェクトについて、一つ一つ意見をいただきたいと思います。次世代柑橘経営者育成事業について、本協議会を主体に生産者からの意向を聞きながら勉強会の内容を検討したいと思っています。</p>
(事務局) 近平係長	<p>勉強会の素案として、講師には愛南町出身で柑橘の発酵食品などの研究を行っている東京の大学教授なども想定しています。これらについては、4月に開催する協議会で具体的にプログラムをどうするか意見をいただきたいと考えています。</p>
吉村課長	本事業について異議はありませんか。
委員全員	(異議なし)
吉村課長	<p>愛南柑橘営農活性化のための情報発信事業について、柑橘を中心とし、柑橘農家の方に対し情報を見える化を図るホームページを立ち上げたいと考えています。生産者同士又は生産者と町のコミュニケーションの場となるアットホームなものをイメージしています。また、インターネット上に公開された地図情報サービスを活用し、遊休農地の集積のための情報を共有することで、貸主と借主を結び付けることも情報提供の可能性として考えています。</p>

木村委員	園地の膨大な情報を地図情報サービス入力した場合に、管理する作業は誰が行うのですか。
吉村課長	農地管理は町側が行うべきと考えています。ただし地図情報を活用する場合は扱う情報量が膨大であり、管理運営を業者に委託する必要もあります。あくまで本事業における地図情報サービスの活用は農地集積のためのツールとして位置づけたいと思っています。
木村委員	北海道から御荘和口へ移住された方がいます。それらの好事例を「愛南町で農家になりたい人のための How to(仮)」に掲載すると良いのではないのでしょうか。
吉村課長	好事例の掲載を含め、農業に関する意見などを自由に書き込めれば良いと考えています。
木村委員	自由な意見や書き込みは制限が必要だと思います。
吉村課長	本事業について異議はありませんか。
委員全員	(異議なし)
原田委員	愛南柑橘リクルート事業について、求人側は、就農希望者の情報をできるだけ詳しく知った上で採用したいのですが、マッチングアプリ(仮称)では個人情報の関係などの制約で、就農者の詳細を知ることにはできないのでしょうか。
吉村課長	人材マッチングについては、個人情報保護やトラブル防止などの観点からも、一旦農業支援センターが就農希望者の個人情報を精査し、氏名等を伏せて居住エリア、年齢、性別などに情報を絞ってアップロードし、マッチングを図るというフローを可能性として考えています。マッチングアプリ(仮称)を使って求人したい農家がどれだけいるのかを調査する必要もあります。主に臨時の季節労働者の募集として活用するケースが考えられますが、ニーズについては検討する必要があります。
木村委員	利用料は定額でしょうか。

吉村課長	費用は求人者のみライセンス料を払えば良い仕組みです。
(農業支援センター) 源氏	悪意を持った利用者(就農希望者)がいた場合に、セキュリティ対策は可能でしょうか。
吉村課長	アクセス権限の設定など技術面に加え、農業支援センターが情報を管理し、同意書等の徴収ができれば良いと考えています。
(農業支援センター) 尾崎氏	求人側が提示する労働対価の設定はどの程度を想定されていますか。
吉村課長	賃金に関する交渉については、人材マッチング成立後に労使が相対で交渉を行うことが理想であると考えています。
山田委員	就農希望者の取り合いになると思います。
吉村課長	それは否めません。就農希望者の割り振りに行政が介入することは適切ではなく、あくまで双方の情報を提供するにとどまるべきであると考えています。また、競合した場合については、お互いの話し合いにより調整するなど、今後ルールを決める必要があるとも思います。本事業について異議はありますか。
委員全員	(異議なし)
吉村課長	優良園地整備事業について、平成29年度に園地の選定を行い、可能であれば平成31年度に造成等を進めたいと思います。本事業は、圃場整備を完了している水田の利活用を考えており、できる限り前倒しの実施も想定しています。水田の畑地化は排水等の問題もありますので、同時にハード整備が必要と考えています。
木村委員	優良園地の定義が必要ではないでしょうか。
吉村課長	優良園地は、作業しやすい場所として平坦地をイメージしています。
木村委員	斜面でも良い園地はあるため、明文化した方が良いのではないのでしょうか。

吉村課長	平成 29 年度に優良園地に関する定義を検討したいと思いません。
山田委員	水田の畑地化には、県の許可等の必要はないのでしょうか。
吉村課長	畑地化による各種問題が起こらないということが確認されれば、県は水田の畑地化を認めています。本事業について異議はありませんか。
委員全員	(異議なし)
吉村課長	加工施設整備事業について、10 年プランとしては、加工施設を整備する方向で検討したいと思えます。本事業を検討するに当たり加工施設の視察等を行い、先進事例調査を通じて 2 種類の加工方法を学びました。平成 29 年度以降は、詳細な生産者のニーズ調査を行い、利用者数を把握した上で、事業計画を順次検討したいと思えます。進捗状況にもよりますが、平成 32 年度の整備着手を考えたいと思っています。本事業について異議はありませんか。
委員全員	(異議なし)
吉村課長	販売促進・PR 事業について、㈱フジの協力を得て、店頭マーケティング調査等を実施したいと思っています。調査は、松山市、県内を中心とした生果、ジュースの販売を想定しています。生果の提供や調査実施において、生産者の方で協力していただけたらお願いいたします。また、実施時期等の詳細については、㈱フジと考えていきたいと思えます。本事業について異議はありませんか。
委員全員	(異議なし)
吉村課長	愛南柑橘ブランディング事業について、愛南産を象徴するロゴマークの検討については、水産や商工観光課との連携も考えており、企画財政課に対して提案済です。これらについては、オール愛南で使えるマークがあれば良いと思っています。本事業について異議はありませんか。

委員全員	(異議なし)
吉村課長	改革プラン全体をとおして、意見はありませんか。 (全員異議はなく、内容について了承)
(IRC) 灘野氏	(第3回座談会について、案内文書(案)に基づき説明)
	(閉会)